

DataMan ワイヤレスモデル **FAQ**

2018 年 8 月 24 日

DATAMAN
ID Readers

ワイヤレスモデル FAQ

目次

・ワイヤレスモデルについて	3
・通信モジュールと BS の種類について	5
・ペアリングと充電ステータスについて	7
・ペアリングの方法	11
・ Setup Tool にて RD の名前が表示されない	13
・ Setup Tool にて RD の名前は表示されるが、接続に失敗し RD がオフラインであると表示される	13
・ PC 画面上の設定コードの読み方	14
・ファームウェアアップデートの順番	14
・ Setup Tool にて RD に接続しても IP アドレスを設定するメニューがない	14
・ WiFi 用 BS に接続すると設定した覚えのない IP アドレスが表示されている	15
・ワイヤレス通信の距離とステータスについて	16
・エイマーの仕様	18
・ DM8600 のチューン機能	19
・リセットの方法	23
・ WiFi /Bluetooth を常時 ON にする	27
・結果受信における接続先について	28
・ BS における USB 通信モードの切り替えについて	30
・ DMR-8600HDX と BS の接続におけるファームウェア Ver について	35

ワイヤレスモデル FAQ

DataMan ワイヤレスモデル(DM8050/8600 シリーズ)における FAQ です。

ドキュメントには詳しく記述されていないこと、わかりにくい点をまとめました。

Setup Tool の基本操作は Ver 5.4.3 を前提としています。

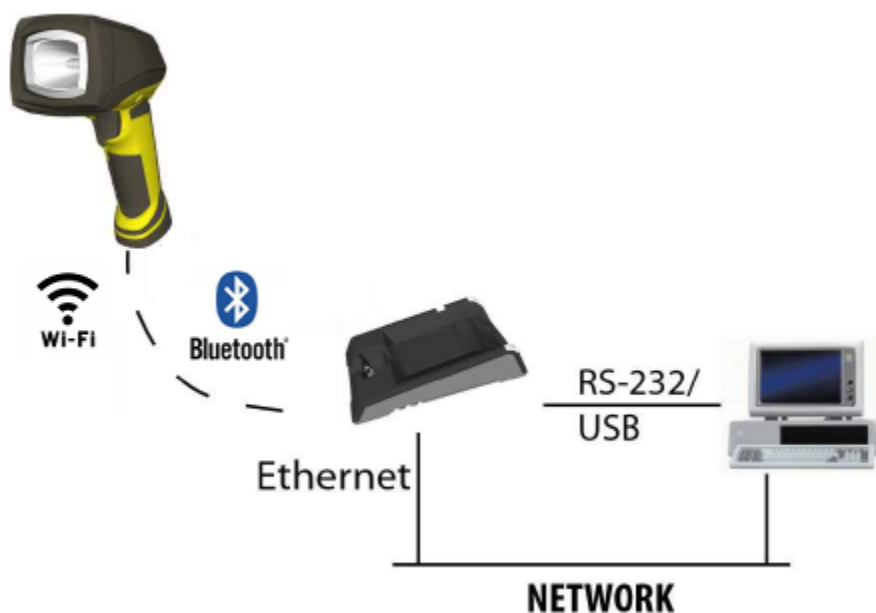
文面ではリーダを RD、ベースステーションを BS と表記します。

【ワイヤレスモデルについて】

RD-BS 間をワイヤレス(WiFi または Bluetooth)で通信します。

相手機器とは有線(RS-232C、USB、Ethernet など)で BS と接続して通信します。

ペアリングは 1 台の RD と 1 台の BS 間でのみ行えます。



RD と BS にはファームウェア Ver があり(アップ/ダウングレード可能)、組み合わせがあります。

またファームウェア Ver に応じて Setup Tool の Ver を使い分ける必要があります。

下記に Ver の組み合わせを記します。

***2018 年 8 月時点においてワイヤレスモデルの場合は、Setup Tool Ver 5.4.3 での使用を推奨します。**

ファームウェアを現時点の最新にすれば Ver 5.7.0_sr2 でも使用はできますが、Setup Tool と RD を接続した場合、RD を BS に載せたり、離したりすると毎度 Setup Tool との接続が切断/再接続されるため待ち時間が生じます。

ワイヤレスモデル FAQ

DM8050シリーズ

本体出荷日	本体	Setup Tool
2014/3/14	5.3.0	5.3.0(英語版)
2014/4/1	5.3.0_sr1	5.3.0_sr1(英語版)
2014/10/5	5.4.0	5.4.0(英語版)
-	5.4.0	5.4.0_cr2(多国語版)
2015/9/25	5.4.3	5.4.3(英語版) '15/9/7
	5.4.4 '17/9/13 有線モデルとBTのみサポート。 WiFiモデルは非サポート。 BTのBSは5.4.4を使用する。 * BTのUSB接続でSTと認識できない不 具合判明。有線モデルは問題なし。	5.7.0_sr2(多国語版) '17/11/10 * 無線モデルではリーダをBSに置いたり離 したりする度にSTとリコネクトする。それを防 止したい場合は5.4.3(英語版)を使用する。た だその場合Verが古いというエラーメッセージ が出る。
	5.4.4_sr1 '18/1/31 5.4.4の不具合対策版。 有線モデルとBTのみサポート。 WiFiモデルは非サポート。 BTのBSは5.4.4_sr1を使用する。	5.7.0_sr2(多国語版) '17/11/10 * 上述と同様。

DM8600

本体出荷日	本体	Setup Tool
2014/10/5	5.4.0	5.4.0(英語版)
-	5.4.0	5.4.0_cr2(多国語版)
2015/9/25	5.4.3	5.4.3(英語版) '15/9/7
2016/9/7	5.4.3_cr3_sr1 '16/8/31 WiFi/BTのリーダをサポート。 BTのBSは5.4.3を使用する。 WiFiのBSは5.4.3_cr3_sr1を使用する。	5.4.3(英語版) '15/9/7
	5.4.3_cr3_sr3 WiFi/BTのリーダをサポート。 BTのBSは5.4.3を使用する。 WiFiのBSは5.4.3_cr3_sr1を使用する。	5.4.3(英語版) '15/9/7
	5.4.4 '17/9/13 有線モデルとBTのみサポート。 WiFiモデルは非サポート。 BTのBSは5.4.4を使用する。 * BTのUSB接続でSTと認識できない不 具合判明。有線モデルは問題なし。	5.7.0_sr2(多国語版) '17/11/10 * 無線モデルではリーダをBSに置いたり離 したりする度にSTとリコネクトする。それを防 止したい場合は5.4.3(英語版)を使用する。た だその場合Verが古いというエラーメッセージ が出る。
	8600HDX用 5.4.4_cr4 '18/1/16 オートフォーカス制御の不具合対策版。 有線モデルとBTのみサポート。 WiFiモデルは非サポート。 BTのBSは5.4.4_sr1を使用する。	5.7.0_sr2(多国語版) '17/11/10 * 上述と同様。
	5.4.4_sr1 '18/1/31 5.4.4の不具合対策版。 有線モデルとBTのみサポート。 WiFiモデルは非サポート。 BTのBSは5.4.4_sr1を使用する。	5.7.0_sr2(多国語版) '17/11/10 * 上述と同様。

ワイヤレスモデル FAQ

【通信モジュールと BS の種類について】

●通信モジュールについて

WiFi 用と Bluetooth 用の 2 種類があります。

WiFi 用 : DMCM-WLESSM-00(P/N : 820-0042-1R)

裏の面にラベルがあり、WiFi の明記あり。



Bluetooth 用 : DMCM-BTM-00(P/N : 820-9119-1R)

表の面にラベルがあるが、通信種類の明記はなし。



ワイヤレスモデル FAQ

●BS について

DMA-CBASE-01 : 充電専用機

給電方法は AC アダプタを使用。

DMA-IBASE-01 : WiFi 用 BS

給電方法は AC アダプタ(DMA-24VPWR-xx)、あるいは PoE を使用。

側面にバッテリー充電用挿入口とやバッテリー充電ステータスを表すランプあり。

DMA-IBASE-BT-01 : Bluetooth 用 BS(Ethernet 機能なし)

上部にペアリングコードあり。

給電方法は AC アダプタ(DMA-24VPWR-xx)、あるいはオルタナティブ電源
コネクタ(青色)に外部 DC24V 電源を接続。

(両者の同時給電は禁止)

DMA-IBASE-BT-02 : Bluetooth 用 BS(Ethernet 機能あり)

DMA-IBASE-BT-01 と同様にペアリングコードあり。

DMA-IBASE-BT-01 と同様の給電方法。

●2 種類の Bluetooth 用 BS の見分け方

外観上の違いがありません。

BS 裏面にあるラベルの ID 番号で見分けることができます。

DMA-IBASE-BT-01 : 825-0494-1R

DMA-IBASE-BT-02 : 825-0572-1R

あるいは Setup Tool と繋ぎ「システム」－「システム情報」の機能キー(Feature Key)を確認します。

DMA-IBASE-BT-01 : Bluetooth

DMA-IBASE-BT-02 : Ethernet, EFP, Bluetooth

ワイヤレスモデル FAQ

【ペアリングと充電ステータスについて】

●ペアリングできている時

RD を BS に載せますと BS の両サイドのランプが緑色に点滅します。

RD の背面ランプは充電状況を表しており、充電中は赤で点灯、充電完了時は緑で点灯します。

*挿絵は DM8600 ですが DM8050 でも同様の光り方となります。



RD は充電中

ペアリング済み



RD は充電完了

ペアリング済み

BS からリーダを離すと BS は青で点灯、RD は 7 秒おきくらいで青く点滅します。



ペアリング済みで BS から RD を離した時

ワイヤレスモデル FAQ

●ペアリングできていない時

RD を BS に載せると BS の両サイドのランプが赤色に点滅します。

RD の背面ランプは充電状況を表しており、充電中は赤で点灯、充電完了時は緑で点灯します。



RD は充電中

ペアリング未完



RD は充電完了

ペアリング未完

BS からリーダを離すと BS は赤で点灯、場合によっては BS から音が断続的に鳴ります。

RD の背面ランプは何も光りません。



ペアリング未完で BS から RD を離れた時

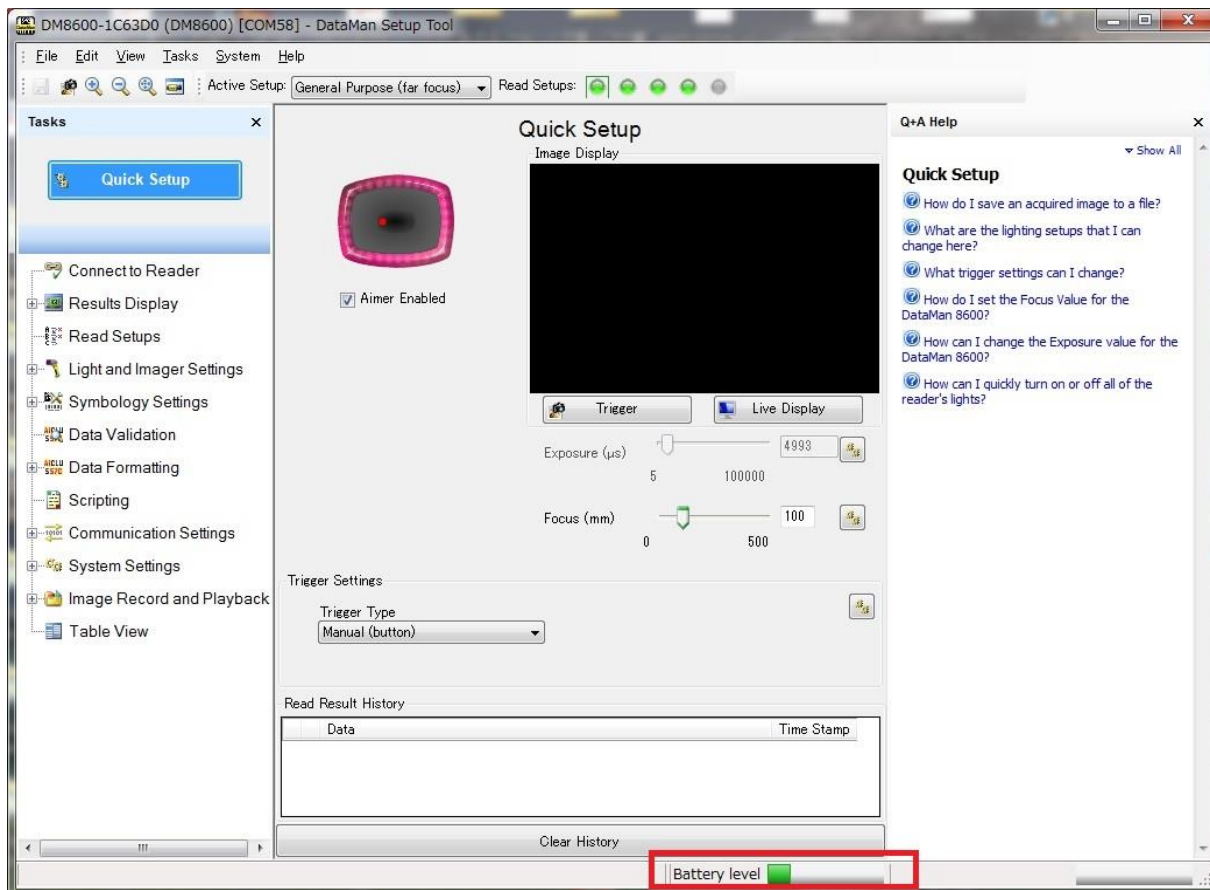
ワイヤレスモデル FAQ

もし RD の背面が赤く定期的に点滅する場合は、バッテリーの充電が足りないことを意味します。



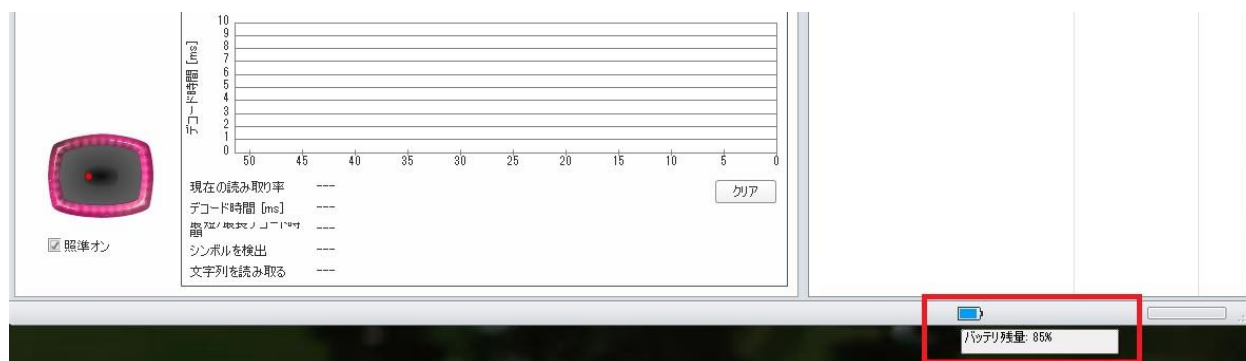
充電が不十分

フル充電時はバッテリー電圧値は 4.1V 以上あります。Setup Tool 5.4.3 にて BS に RD を載せない状態で RD に接続しますとどれくらい充電されているかステータスバー内のゲージにて知ることができます。RD を BS へ載せますと充電が開始され、ゲージが左から右へ移動するような表示を繰り返します。充電が完了しますとゲージがフルで緑色表示となります。



ワイヤレスモデル FAQ

Setup Tool 5.7.0_sr2 では、パーセンテージの表示も出ます。



WiFi 用 BS である DMA-IBASE-01 では、側面にバッテリーを単体で充電できる充電用挿入口があります。Bluetooth 用 BS である DMA-IBASE-BT-01 や DMA-IBASE-BT-02 にはありません。



バッテリーを差し込むと上部にあるランプが充電中は赤色に、充電完了時は緑色に点灯します。



充電中



充電完了

ワイヤレスモデル FAQ

【ペアリングの方法】

●Bluetooth モデルのペアリング方法

① BS 上の黄色いペアリングコードを読みます。

読み取りが成功しますと「ピピピッ」と音が 3 回鳴り、BS と RD がペアリングモードになります。RD はペアリングできるまで、もしくはタイムアウトまでの 20 秒間、背面ランプが緑と青で交互に点滅し始めます。

*挿絵は DM8050 ですが DM8600 でも光り方は同様です。



② RD を BS に載せます。

③ ペアリングできないときは、RD と BS の電源を切ります。RD はバッテリーを抜きます。

④ RD へバッテリーを挿入し、BS へ電源を再投入後、RD を BS に載せます。

ペアリングするまでに時間がかかる場合がありますのでしばらく様子を見ます。

以上を試してもペアリングできない場合は、次ページの“WiFi/Bluetooth モデル共通のペアリング方法を試してください。

ペアリングの状態に関しては”【ペアリングと充電のステータスについて】”の項をご覧ください。

ワイヤレスモデル FAQ

●WiFi/Bluetooth モデル共通のペアリング方法

- ① Setup Tool にて BS と接続します。「Communication Settings」の「Bluetooth」または「WiFi」タブにアクセスし「Associated Reader」の「Unassign」ボタンを押します。

これで BS のペアリング解除ができます。 ボタンが押せない場合はそのままにします。

* 下記は WiFi モデルの例

Communication Settings

Serial Network **Wi-Fi**

Wi-Fi Interface

☒ Enable Wi-Fi

Network Properties

Network name (SSID) DM8000Base-1EA792

Network type

Channel 2

Security Options

Authentication mode

Encryption method WEP-104

Passphrase ***** ☐ Show

Passphrase again *****

Associated Reader

Device Name	Model	IP address	Serial Number
DM8050-4007FE	DM8050	172.30.211.2	1A1602PP001453

Unassign

ワイヤレスモデル FAQ

- ② 次の「Reset Scanner to Factory Defaults」を RD で読み取った後、

「Unassign Reader from Base Station」を読み取ります。

この設定コード表(Reader_Configuration_Codes.pdf)は Setup Tool の「Help」メニューからアクセスできます。これで RD のペアリング解除ができます。

	Reset Scanner to Factory Defaults DMAE50 • DM50 • DM60 • DM100 • DM200 • DM300 • DM500 • DM503 • DM700 • DM8000 • DM9500
	Unassign Reader from Base Station DM8000

- ③ RD と BS の電源を切ります。

RD はバッテリーを取り外します。

- ④ RD と BS の電源を再投入します。

RD はバッテリーを挿入します。

- ⑤ RD を BS に載せます。ペアリングができることを確認します。

もしペアリングできない場合は、①から設定をし直してみてください。

【Setup Tool にて RD の名前が表示されない】

ペアリングができているか確認をしてください。

詳細は【ペアリングと充電のステータスについて】 【ペアリングの方法】の項をご覧ください。

【Setup Tool にて RD の名前は表示されるが、接続に失敗し RD がオフラインであると表示される】

RD がスリープモードになっていないか確認してください。

ワイヤレスモデル FAQ

【PC 画面上の設定コードの読み方】

PC 画面に表示した設定コードを読む際は、リーダの照明を **OFF** にして試すと読み取りしやすいです。
OFF にできない場合は照明光を手で隠すのも有効です。

【ファームウェアアップデートの順番】

ファームウェアをアップデートする際は **RD**、**BS** の順に進めるのが無難です。

BS からはじめた場合、**Ver**によっては **RD** とペアリングできなくなる場合があります。

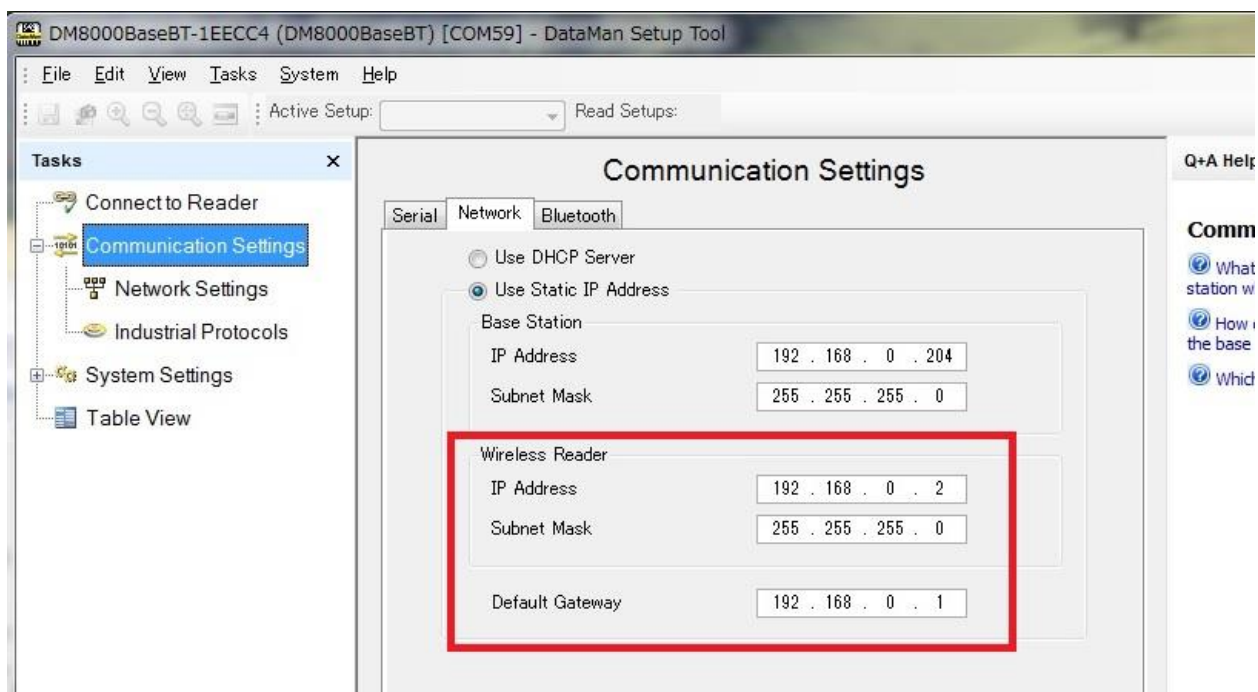
そうってしまった場合は、**RD** にシリアルや **Ethernet** の有線モジュールを装着し、有線で **ST** と接続しアップデートを行ってください。

【Setup Tool にて **RD** に接続しても IP アドレスを設定するメニューがない】

設定は **BS** にて行います。

Setup Tool 5.4.3 の場合、「Communication Settings」－「Network」タブの「Wireless Reader」にて IP アドレスを入力後、再起動する必要があります。

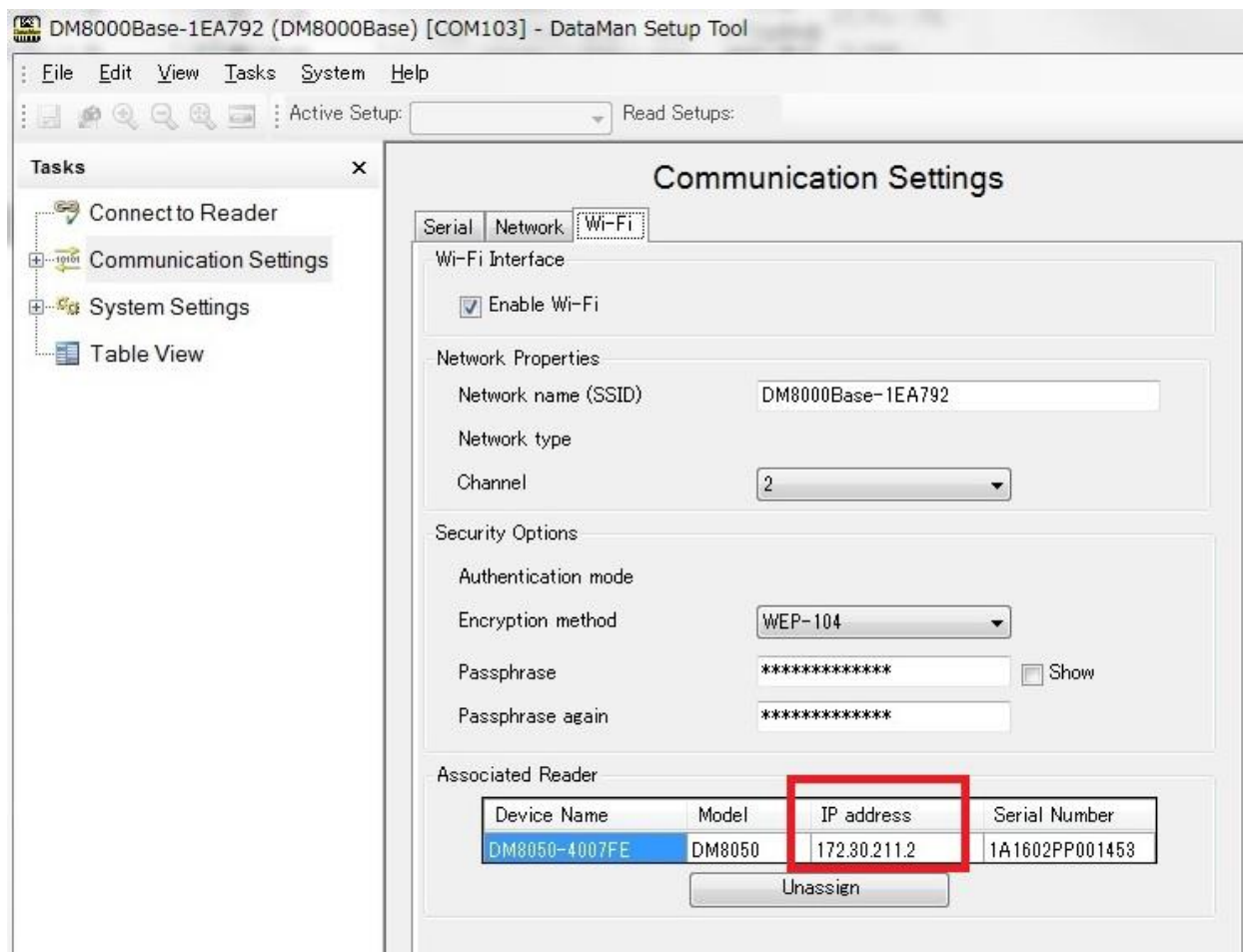
もし **Default Gateway** の入力を要求された場合は、同じネットワーク体系にセットし、末尾の番号をどことも重複しない番号にしておきます(1～254 の間で)。



ワイヤレスモデル FAQ

【WiFi 用 BS に接続すると設定した覚えのない IP アドレスが表示されている】

WiFi モデルにおいては RD と BS がワイヤレスで通信する際に内部的に使用するアドレスが自動的に設定されます。



ワイヤレスモデル FAQ

【ワイヤレス通信の距離とステータスについて】

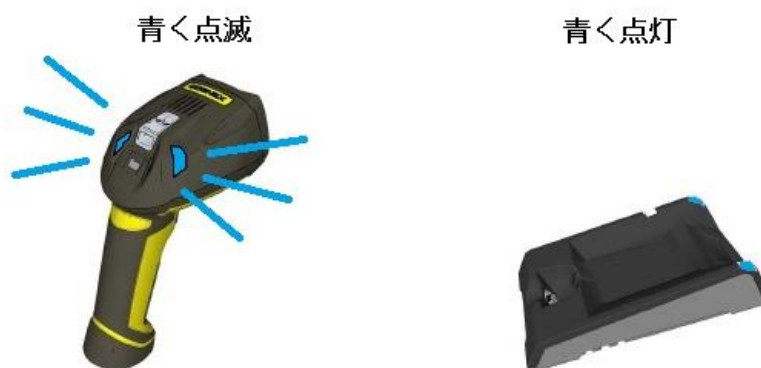
一般的な使用環境におけるワイヤレス通信の距離は、WiFi が 30m、Bluetooth が 10m 程度です。

使用環境によって通信距離はもっと短くなることもありますのでご注意ください。

下記にワイヤレス通信のステータス別にランプの光り方と振る舞いを記します。

*挿絵は DM8600 ですが、DM8050 でも光り方は同様です。

●RD と BS のワイヤレス通信が確立しているとき



●ワイヤレスの通信レンジを外れてペアリングが切れたとき(Offline になったとき)



ワイヤレスモデル FAQ

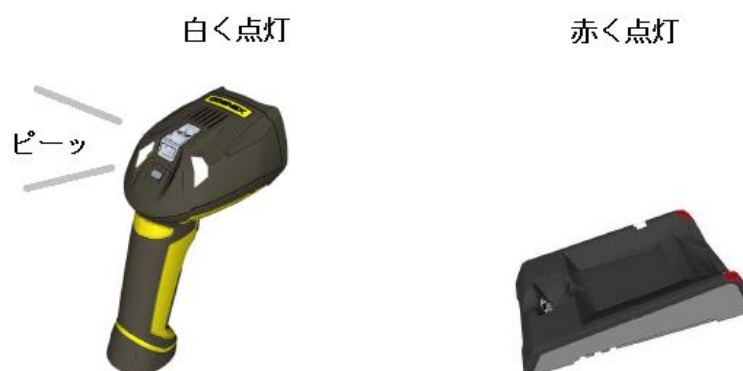
●Offline での読み取り

Offline で読み取りをして成功すると、通常 1 回のところ 2 回ビープ音が鳴り、背面ランプは緑で 1 回点滅します(デフォルト)。

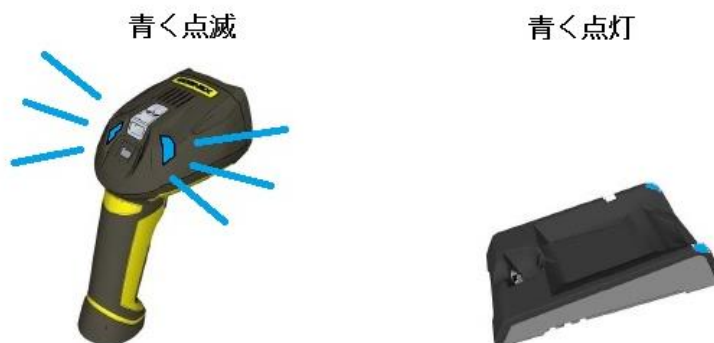
これらの振る舞いは Setup Tool の「System Settings」にて変更できます。

また RD はペアリングが切れて Offline になっても 500 回分までの読み取り結果をバッファリングできます。

●Offline でバッファがフルになったとき



●ワイヤレスの通信レンジ内に戻り、ペアリングが復旧したとき



ユーザアプリケーションと通信している場合に限って(USB キーボード、RS-232C、TCP/IP(Telnet)等)、BS とペアリングが復旧すると自動的にバッファリングしていたデータを出力します。

なお、Setup Tool との通信の場合は、通信レンジ外となって Offline となると RD と Setup Tool の通信が

ワイヤレスモデル FAQ

切断します。レンジ内に戻って BS と再ペアリングできたとしても Setup Tool との接続は自動的に復旧しませんので、手動で再接続する必要があります。接続すると Setup Tool へバッファリングしていたデータを出力します。

【エイマーの仕様】

DM8600 のエイマーはレーザーを使用しており、クラス 2 です。

なお、「UltraLight 設定」－「レーザー光量」にて出力の変更ができます。

選択肢としては、

- ・「クラス 2」
- ・「低減したレーザー光量」

です。

「クラス 2」はそのままですが、「低減したレーザー光量」はクラス 1M に下げることができます。

照明とカメラの設定

ワイヤレスモデル FAQ

DM8050 のエイマーは LED ですので IEC 62471 に基づき、リスクグループの適用外となります。

平成 18 年に光ファイバー用途以外の一般の LED は IEC60825-1 から適用除外され、IEC62471 として規格化されております。我々の全ての製品は IEC60950 の安全規格に適合しており、IEC62471 も包括しています。

【DM8600 のチューン機能】

DM8600 は最大 5 つの読み取り設定(リードセットアップにて設定 0~4 を調整可能)を持つことが可能です。初期設定ではその内の 4 つ(設定 0~3)が目的別に設定されており、有効状態になっています。例えば初期状態でトリガを引きますと、順次 4 つの設定を切り替えながら読み取り動作をします。対象コードをかざさずにトリガボタンを引き続けると照明の色が赤や青に変わっていくのが確認できます。

Read Setups					
Parameter	Setup 0	Setup 1	Setup 2	Setup 3	Setup 4
Name	General Purpose (far focus)	General Purpose (near focus)	Textured Surface	Dot Peen Difficult	Tuned
Enabled	☒	☒	☒	☒	☐
Results Display					
Displayed Image Settings					
Live Display					
Use filtered image	☐	☐	☐	☐	☐
Light and Imager Settings					
Imager Settings					
Automatic Exposure	☒	☒	☒	☒	☒
Maximum exposure (μs)	5000	5000	5000	5000	5000
Exposure (μs)	200	200	200	200	200
Gain	5	5	5	5	5
Light Settings					
Internal					
Illumination					
Bright field intensity	12	12	12	12	12
Light pipe intensity	12	12	12	12	12
Image Size (Region of Interest)					
Decoder ROI					
Left	0	0	0	0	0
Right	1280	1280	1280	1280	1280
Top	0	0	0	0	0
Bottom	1024	1024	1024	1024	1024
Focus Settings					
Focus (mm)	100	25	25	25	25
Image Filtering					
Stacked Filters	No Filtering	No Filtering	No Filtering	No Filtering	No Filtering

ワイヤレスモデル FAQ

Tune を使用するとその 4 つの設定の内(設定が有効となっているもの)、どの設定が適切かを判断し設定 4 にそれを上書きコピーした後、設定 0~3 を無効化し単一設定で読み取りするように変更します。もしどの設定でも読み取りができなかった場合は、Tune 前の設定を保持します。Tune の目的は余計な読み取り設定を省き、読み取りのレスポンスを上げることです。あるいは一時的に読み取り設定を簡単に単一化したいようなときにも有効です。

Tune の操作方法ですが、リーダ背面中央のタッチセンサに 3 秒以上触れます。

3 秒以上触れる。



触れはじめると中央よりの両サイドのランプが赤で点灯します。



ワイヤレスモデル FAQ

中央よりの両サイドのランプが緑で点滅します。

これで **Tune** スタンバイ状態となりますので対象コードを読み取ります。



読み取りができますと緑の点滅が点灯に変わり、**Tune** が完了したことを知らせます。

この状態で読み取り設定が単一になります。



ワイヤレスモデル FAQ

解除/中断したい場合は、再度リーダ背面中央のタッチセンサに 3 秒以上触れると中央よりの両サイドのランプが消灯し、元の設定に戻ります。



ワイヤレスモデル FAQ

【リセットの方法】

リセットには主に 3 つの方法があります。状況に応じて使い分けると便利です。

●方法 1

設定コードにあるリセットコードを RD で読み取ります。

ワイヤレスモデルには RD 用と BS 用の 2 つのリセットコードがあります。

BS 用リセットコードを読む際はリーダーとペアリングが確立している必要があります。

リセットコードを読み取るとリセットされた内容はフラッシュメモリへ保存されます。

RD 用

	Reset Scanner to Factory Defaults DMAE50 • DM50 • DM60 • DM100 • DM200 • DM300 • DM500 • DM503 • DM700 • DM8000 • DM9500	
--	--	--

BS 用

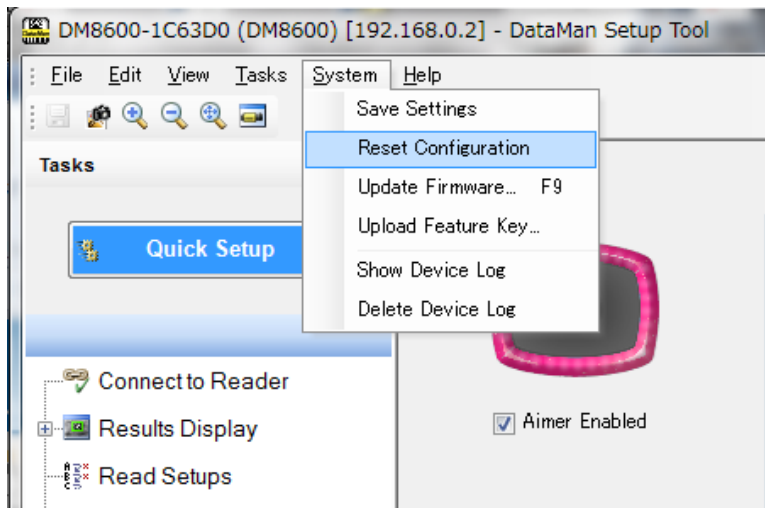
	Reset Base Station to Factory Defaults DM8000Base	
---	---	--

ワイヤレスモデル FAQ

●方法 2

Setup Tool の「System」－「Reset Configuration」をクリックします。

RD/BS それぞれで実行できます。



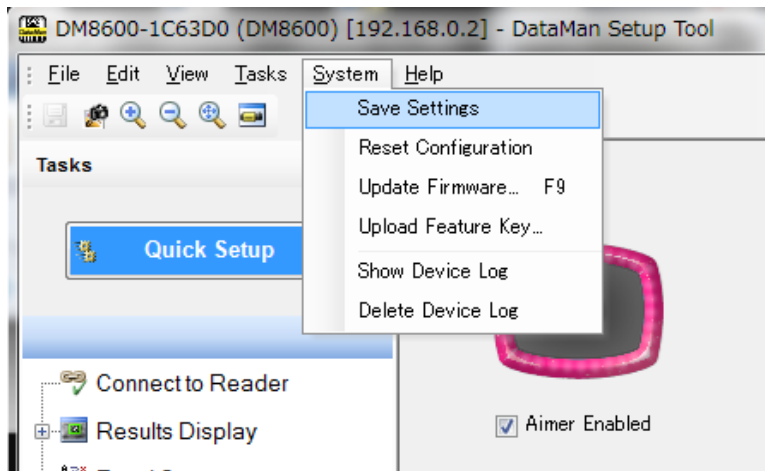
この方法では通信設定(シリアルタブ、ネットワークタブおよび産業用プロトコル)以外、即ち読み取りに直接関連する設定のみを一時的にリセットします。

一時的にとは RAM 上にある設定をリセットするためです。

したがって再起動すると元の状態に戻ります。

通信設定はそのままに読み取り設定だけリセットしたい場合に有効です。

再起動後もリセット状態にしたい場合は、リセット後に「System」－「Save Settings」を押します。



ワイヤレスモデル FAQ

●方法 3

こちらは対象が RD のみとなります。

- ① BS の電源を切った状態で RD のバッテリーを抜き、RD を BS に載せます。

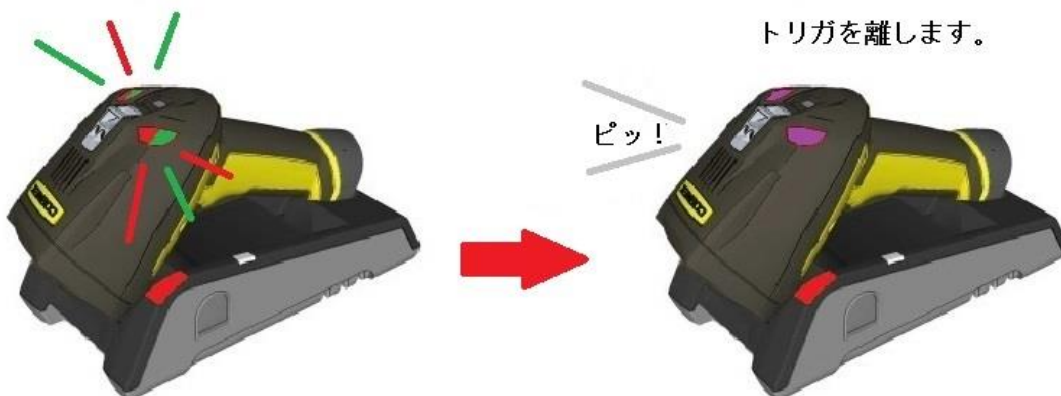


- ② RD のトリガを引いたまま BS へ電源を投入します。

- ③ トリガを引き続けていると RD の背面ランプが赤と緑で交互に点滅し始めます。

その後、紫に点灯しピッと音が 1 回鳴ったらトリガを離します。

*挿絵は DM8600 ですが DM8050 でも光り方は同様です。



ワイヤレスモデル FAQ

- ④ 数秒後、背面ランプが水色に点灯し、ピッと鳴ったら再びトリガを引き続けます。



- ⑤ 数秒後、背面ランプが消灯してピピピピーッと音が4回鳴ったらトリガを離します。



以上で RD がリセットされます。

リセットされた設定はフラッシュメモリへ保存されます。

ワイヤレスモデル FAQ

【WiFi /Bluetooth を常時 ON にする】

RD は BS に載せると WiFi や Bluetooth 通信を OFF にします。そして BS から離すと再び通信を ON にしますが、ON になるまでに 5 秒程度時間を要します。

その待ち時間が煩わしかったり、作業効率が悪いといった印象を持たれることがあります。

そんなときに以下の設定コードの「Disable Reader Communications Pins」を読むことで常時 ON にすることができます。これによって時間の節約、生産性の向上が期待できます。

BS での充電は従来通り可能です。コミュニケーションピンを無効化すると RD と BS はお互いを認識できなくなるため、ペアリングの調整作業はできなくなります。

元に戻すには「Enable Reader Communications Pins」を読みます。

WiFi /Bluetooth を常時 ON

Disable Reader Communications Pins



WiFi /Bluetooth の常時 ON を解除



Enable Reader Communications Pins (Default)

ワイヤレスモデル FAQ

【結果受信における接続先について】

●USB-COM 通信

BS の USB ポートと PC 間を USB ケーブルで接続します。

読み取り結果を受信するには RD の COM ポート番号に接続します。

BS と接続しても結果を受信できません。

●RS-232C 通信

BS のシリアルポートと PC 間を WiFi モデルであれば RS-232C ケーブルで、Bluetooth モデルであれば RJ-25 to D-SUB9(DMA-RS232RJ-05)を介して RS-232C ケーブルで接続します。

BS の「通信設定」－「シリアル」タブにある「RS-232 ルーティング」にてリーダ名、あるいはベースステーションのどちらかを選択します。

DM8000Base-1EA792

通信設定

シリアル ネットワーク Wi-Fi

シリアルポート設定

速度 115200

パリティ なし

データビット 8

ストップビット 1

ハンドシェイク オフ

キーボード設定

言語 US

☒ ゼロパディング有効

USB 接続

☐ USB ドライバ互換モード

使われた通信チャンネル USB-COM のみ

HIDモードの文字間の遅延 0

RS-232 ルーティング

ルート: DM8600-1C63D0
ベースステーション
DM8600-1C63D0

ワイヤレスモデル FAQ

こちらで指定した方と通信を行い、読み取り結果を受信します。

本体上のトリガで読み取りした場合、リーダー、ベースステーションどちらが指定されていても受信可能です。

DMCC でトリガコマンドを送信する場合は、RD を指定します。

なお、Setup Tool においても「RS-232 ルーティング」で指定した方とのみ接続可能です。

「RS-232 ルーティング」の変更は USB-COM、あるいはネットワークで接続して行います。

RS-232C ケーブルで接続の場合、ベースステーションからリーダーへのルート変更は可能ですが、その逆は不可です。

●Telnet 通信

読み取り結果を受信するには RD の IP アドレスに接続します。

●EIP 通信

読み取り結果を受信するには BS の IP アドレスに接続します。

●SLMP 通信

BS がクライアントになります。

* 上記内容は Setup Tool 5.7.0_sr2 を使用し 8600WiFi モデル

(RD : 5.4.3_cr3_sr3、BS : 5.4.3_cr3_sr1)にて確認。

ワイヤレスモデル FAQ

【BS における USB 通信モードの切り替えについて】

DM8600/8050 の WiFi/Bluetooth モデルにて BS の USB ポートと PC 間を USB ケーブルで接続します。

「Communication Settings」 - 「Serial」 タブの「Used communication channel」にて下記の 3 種類から切り替えができます。

- ・「USB-COM only」
- ・「USB-COM + USB-HID」
- ・「USB-HID only」

デフォルトは「USB-COM only」です。

The screenshot shows the 'Communication Settings' window with the 'Serial' tab selected. The 'Used communication channel' dropdown menu is open, displaying three options: 'USB-COM only', 'USB-COM + USB-HID', and 'USB-HID only'. The first option, 'USB-COM only', is currently selected and highlighted in blue. A red rectangular box is drawn around the dropdown menu to draw attention to it.

Setting	Value
Speed	115200
Parity	None
Data Bits	8
Stop Bits	1
Handshake	Off
Language	US
Zero padding enabled	☒
USB Driver Compatibility Mode	☐
Used communication channel	USB-COM only
Route to	

ワイヤレスモデル FAQ

●USB-COM only

USB-COM で Setup Tool で BS と接続したり、ユーザアプリケーションで BS と接続することができます。

BS と USB-COM でユーザアプリケーションと通信をしても、読み取り結果を受信することはできません。

DMCC を受けることは可能ですが、読み取り結果を受信することはできません。

主に Setup Tool と接続することに使われます。

●USB-COM + USB-HID

BS にて USB-COM と USB-HID との同時通信が可能です。

USB-HID を使用しながら Setup Tool と BS を接続可能です。

しかし USB-COM で BS と接続しても読み取り結果を受信することはできません。

また DMCC を受けることもできません。

なお、有線モデルでは同時通信はサポートいたしません。

主に Setup Tool と BS を繋ぎながら、HID を併用する際に使用します。

注意点といたしまして Setup Tool に接続したとき Setup Tool をアクティブにした状態で

ID コードを読みますと意図しないメニュー画面に切り替わってしまいます。

このモードを使用する際は、必ずキーボード入力するアプリケーション側をアクティブにしておきます。

●USB-HID only

USB-HID の HID とは Human Interface Device の略で USB キーボードのことです。

キーボードのごとく、DataMan で読み取った結果をエクセルやメモ帳などのアプリケーションへ直接入力することができます。

USB-HID only にした場合、Setup Tool との接続ができなくなります。

Setup Tool と再接続したい場合は、設定コードを使って USB-COM にする必要があります。

***RD の USB-COM 通信は BS とは別個となるため、BS がどの設定であっても RD の USB-COM に接続してアプリケーションで読み取り結果を受信する、あるいは Setup Tool と接続することができます。**

ワイヤレスモデル FAQ

●設定コードにおける「USB-COM + USB-HID」と「USB-COM only」の切り替え

「Used communication channel」における「USB-COM + USB-HID」と「USB-COM only」の切り替えは設定コードでも可能です。

あらかじめ「USB-COM + USB-HID」、あるいは「USB-COM only」にセットされている必要があります。

「USB-COM only」のときに下記コードを読むと「USB-COM + USB-HID」に変更されます。

設定を有効にするには読み取り後、BS の再起動が必要です。

	Enable USB Keyboard for the base station <i>Reboot needed for enabling USB keyboard for the base station!</i> DM8000Base	
---	---	--

「USB-COM + USB-HID」のときに下記コードを読むと「USB-COM only」に変更されます。

設定を有効にするには読み取り後、BS の再起動が必要です。

	*Disable USB Keyboard for the base station <i>Reboot needed after disabling USB keyboard for the base station!</i> DM8000Base	
--	--	---

* この設定コードは USB-HID を有効にするか否かを設定するに過ぎません。

「Disable USB Keyboard for base station」を読んで USB-HID(USB キーボード)を無効にしても USB-COM が有効になるわけではありません。

USB-HID only から USB-COM に切り替えたい場合は、次ページに紹介する設定コードを使用します。

ワイヤレスモデル FAQ

●設定コードにおける「USB-COM only」と「USB-HID only」の切り替え

「Used communication channel」における「USB-COM only」と「USB-HID only」の切り替えは設定コードでも可能です。

下記のコードを読むと BS は「USB-HID only」に切り替わり、Setup Tool の接続リストでは RD と BS の「USB-COM」表示をしません。

設定を有効にするには読み取り後、BS の再起動が必要です。

	Enable 'Enumerate in HID mode only' <i>Reboot needed for changing between HID and USB mode of base/reader!</i> DM8000Base
---	--

下記のコードを読むと BS は USB-COM が使用できるようになります。

Setup Tool の接続リストでは RD と BS の「USB-COM」表示をします。

設定を有効にするには読み取り後、BS の再起動が必要です。

Disable 'Enumerate in HID mode only' <i>Reboot needed for changing between HID and USB mode of base/reader!</i> DM8000Base



ワイヤレスモデル FAQ

●USB 通信モードの切り替え例

- ① BS の「Used communication channel」を「USB-COM only」にします。

Setup Tool の接続リストでは RD と BS の USB-COM 表示をします。

「Enable Enumerate in HID mode only」を読んだあとに BS を再起動すると USB-HID モードに変更しますので、Setup Tool の接続リストには RD と BS の USB-COM 表示をしません。

「Disable Enumerate in HID mode only」を読んだあとに BS を再起動すると USB-HID から USB-COM モードに変更しますので、Setup Tool の接続リストに RD と BS の USB-COM 表示をします。BS の「Used communication channel」は「USB-COM only」になります。

- ② BS の「Used communication channel」を「USB-COM + USB-HID」にします。

Setup Tool の接続リストでは RD と BS の USB-COM 表示をします。

「Enable Enumerate in HID mode only」を読んだあとに BS を再起動すると USB-HID モードに変更しますので Setup Tool の接続リストに RD と BS の USB-COM 表示をしません。

「Disable Enumerate in HID mode only」を読んだあとに BS を再起動すると USB-HID から USB-COM + USB-HID モードに変更しますので Setup Tool の接続リストに RD と BS の USB-COM 表示をします。BS の「Used communication channel」は「USB-COM + USB-HID」になります。

- ③ BS の「Used communication channel」を「USB-HID only」にします。

Setup Tool の接続リストでは RD と BS の USB-COM 表示をしません。

「Disable Enumerate in HID mode only」を読んだあとに BS を再起動すると USB-COM + USB HID モードに変更しますので Setup Tool の接続リストに RD と BS の USB-COM 表示をします。

BS の「Used communication channel」は「USB-COM + USB-HID」になります。

- ④ BS の「Used communication channel」を「USB-COM only」にします。

Setup Tool の接続リストでは RD と BS の USB-COM 表示をします。

「Enable USB Keyboards for the base station」を読んでから BS を再起動すると USB-COM + USB-HID モードに変更しますので Setup Tool の接続リストは RD と BS の USB-COM 表示を維持します。BS の「Used communication channel」は「USB-COM + USB-HID」となります。

「Disable USB Keyboards for the base station」を読んでから BS を再起動すると USB-COM モードに変更しますので Setup Tool の接続リストは RD と BS の USB-COM 表示を維持します。

BS の「Used communication channel」は「USB-COM only」になります。

ワイヤレスモデル FAQ

- ⑤ BS の「Used communication channel」を「USB-HID only」にします。

Setup Tool の接続リストでは RD と BS の USB-COM 表示をしません。

「Disable USB Keyboards for the base station」を読んで BS を再起動しても USB-COM は有効にはなりませんので、Setup Tool の接続リストに RD と BS の USB-COM 表示はされません。

「Disable Enumerate in HID mode only」を読んで BS を再起動すると USB-COM モードに変更しますので、Setup Tool の接続リストに RD と BS の USB-COM 表示をします。

BS の「Used communication channel」は先に読んだ「Disable USB Keyboards for the base station」が効いているため「USB-COM only」になります。

- ⑥ BS の「Used communication channel」を「USB-HID only」にします。

Setup Tool の接続リストでは RD と BS の USB-COM 表示をしません。

「Disable Enumerate in HID mode only」を読んで BS を再起動すると USB-COM + USB-HID モードに変更しますので、Setup Tool の接続リストに RD と BS の USB-COM 表示をします。

BS の「Used communication channel」は「USB-COM + USB-HID」になります。

- ⑦ BS の「Used communication channel」を「USB-COM + USB-HID」にします。

Setup Tool の接続リストでは RD と BS の USB-COM 表示をします。

「Disable USB Keyboards for the base station」を読んで BS を再起動すると USB-COM モードに変更しますので、Setup Tool の接続リストの RD と BS の USB-COM 表示を維持します。

「Used communication channel」は「USB-COM」になります。

【DMR-8600HDX と BS の接続におけるファームウェア Ver について】

8600HDX は専用ファームウェアとして Ver 5.4.4_cr4 が用意されています。（2018 年 8 月 9 日時点）

これはオートフォーカス制御の不具合対策版となります。

Ver 5.4.4_cr4 の RD を接続するには Ver 5.4.4_sr1 搭載のベースステーションが必要です。

詳細は Ver 5.4.4_cr4 のダウンロードサイトをご覧ください。

<https://support.cognex.com/ja-jp/downloads/detail/dataman/3561/1041>

なお、Ver 5.4.4 系は有線モデルと Bluetooth 版のみサポートです。

WiFi モデルはサポートしていませんのでご注意ください。